

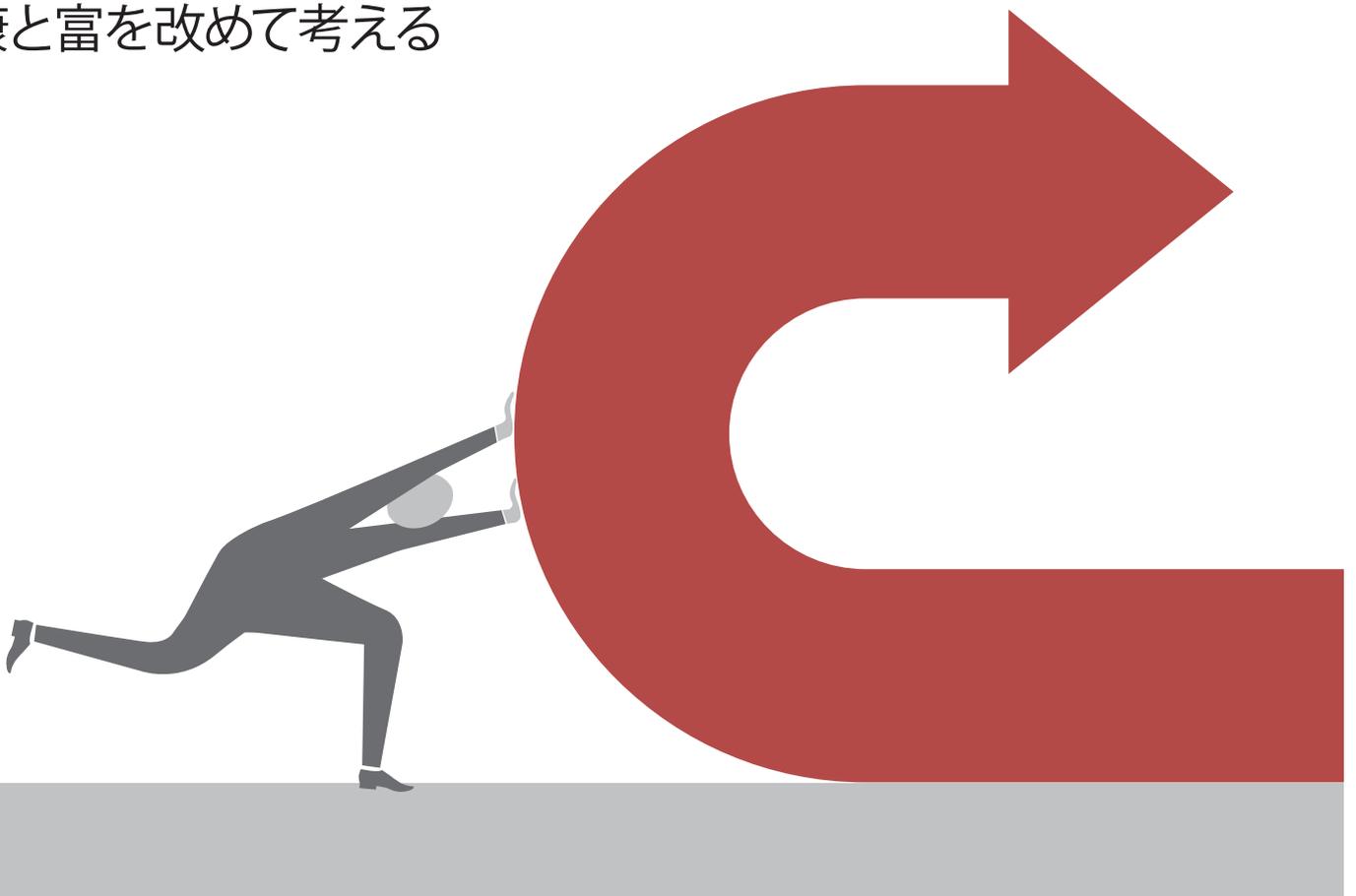
UBS Investor Watch

世界の見解: 投資家は何を考えているか

2020年7月 UBS富裕層意識調査レポート

新しい道

新型コロナウイルス後の世界
健康と富を改めて考える



世界が感染封じ込めに取り組むなか、生命や生活への脅威に直面した投資家は、本質を見つめ直すことになった。

世の中の多くは、家族がいることの喜び、安全と安心の大切さ、健康のありがたみを再認識した。

ロックダウンから抜け出しても、なお新型コロナウイルスの対応に取り組んでいる状況を見て、投資家は永遠に変わったのかもしれない世界にたたずむ自分に気付いた。

世界的なパンデミックとその余波をきっかけに、健康を維持し、家族と過ごす時間を増やし、最愛の人を守るなど、投資家は本当に重要なものに目を向けるようになった。さらに、投資家の多くは、移動の削減、リモートワーク、人の少ない地域へ移住するなど、ライフスタイルを変化させるようだ。

同時に、パンデミックは投資家が自身のお金について考えるきっかけにもなった。投資家の70%がパンデミックによる景気悪化と市場のボラティリティの高まりの影響を受けた。

特にミレニアルズは経済的影響を大きく受けた。しかし、雇用、減収、労働年数の延長などの懸念を抱えながらも、他の人々との違いを生み出すことを意識している。半数以上が新型コロナウイルスの影響を受けた家族への経済的支援を増やしている。また、多くは社会貢献活動やサステナブル投資に興味を示している。

投資家は、将来に躊躇と期待を併せ持っている。その80%は、現在の環境にリスクだけでなく投資機会も見い出している。不確実性が高まったことで、アドバイスの必要性が増しており、例えば、プロのアドバイザーのいる投資家の83%が通常よりも多くのアドバイスを求めている。

パンデミックが過ぎ去ったとは言えない状況で、投資家は変わってしまった世界の様子を伺っている状況だ。そして、その多くは、何が大事かを明確に意識しつつ、信頼できるアドバイスを受け、人生で最も重要な事に対する感謝をいつまでも忘れずに、自身の道を歩んでいこう。

1

投資家は、新型コロナウイルス後の新しい生活が永遠に続くかと予測している…

世界的なパンデミックをきっかけに、投資家の75%が元のライフスタイルには戻らないと結論づけている。特に、ラテンアメリカと米国の投資家はその思いが強い。

新しい「通常」に順応するために、投資家はライフスタイルを変化させるようだ。70%が今後、オフィスへの移動や旅行を減らすつもりだ。半数は家族や親族により近い場所へ引越しをするつもりで、46%が都市部をあきらめ、人の少ない地域への移住を検討している。

もう元には戻らない

75% 従来のライフスタイルに戻ることは二度とない

地域別



新しい「通常」



70%

移動を控える



67%

リモートワークを増やす



52%

家族の近くに引越しを検討



46%

人の少ない地域への移住を検討

… 優先順位を考え直すきっかけに

新型コロナウイルスは、間違いなく多くの人に苦難を与えた。81%がパンデミックで浸透してしまった恐怖感は、今後も残ると考えている。特にラテンアメリカと米国での割合が高い。

しかし、多くは、人生で最も重要なことに再び目を向け始めた。88%もの人が、健康を維持することがもっとも重要であると述べている。約80%は家族とより多くの時間を過ごし、自身と最愛の人を危害から守りたいと考えている。

慎重に足を運ぶ



81%

恐怖感は長い期間
世の中にとどまる

75%

何が一番大事か
考え直させられた

73%

人生は短いと
気付かされた

地域別

ラテンアメリカ	米国	欧州 (スイスを除く)	アジア太平洋	スイス
89%	86%	83%	74%	68%

家族、健康、安心と安全をもっと大切にしたい



88%

健康でいることが一番大事

82%

家族を
もっと守りたい

80%

自分自身を
もっと守りたい

77%

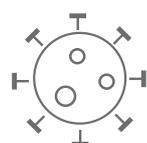
最愛の人と
もっと一緒に
過ごしたい

2

投資家はパンデミックによる経済的な影響を受けた...

世界の投資家の70%は、新型コロナウイルスによる景気悪化と市場のボラティリティの高まりによって、何らかの影響を受けた。投資家の25%は、重大な影響を受けたと述べ、ラテンアメリカとアジアでその割合が高い。

世界に及んだ経済的影響



70% パンデミックによる
経済的影響を受けた

25% 重大な影響を
受けた

45% ある程度
影響を受けた

地域別

ラテンアメリカ	アジア太平洋	欧州 (スイスを除く)	米国	スイス
30%	26%	24%	22%	11%

... 不確実性が続くなか、懸念が残る

投資家の67%は、パンデミックが自身のお金についての考え方に影響を与えたと述べた。現在、投資家は長期的な不確実性に直面しており、さまざまな経済上の懸念を抱いている。

短期的には、56%が次のパンデミックを乗り切るのに十分な流動性を維持できるか懸念しており、長期的には、65%が老後資金の減少を心配している。遺産に関しては、半数以上が遺産減少を心配している。

新たな見識



心配で眠れない?



流動性の確保

56%

感染第2波に耐えられるだけの貯蓄があるか心配

51%

医療費上昇が心配



老後の備え

65%

ウィルスの影響が老後の資金にまで及ぶか心配

58%

老後の資金減少で長く働かなくてはならないか心配



資産継承の準備

60%

自身が病気になった場合、家族への金銭的負担が心配

54%

遺族に十分な遺産を残せるか心配

3

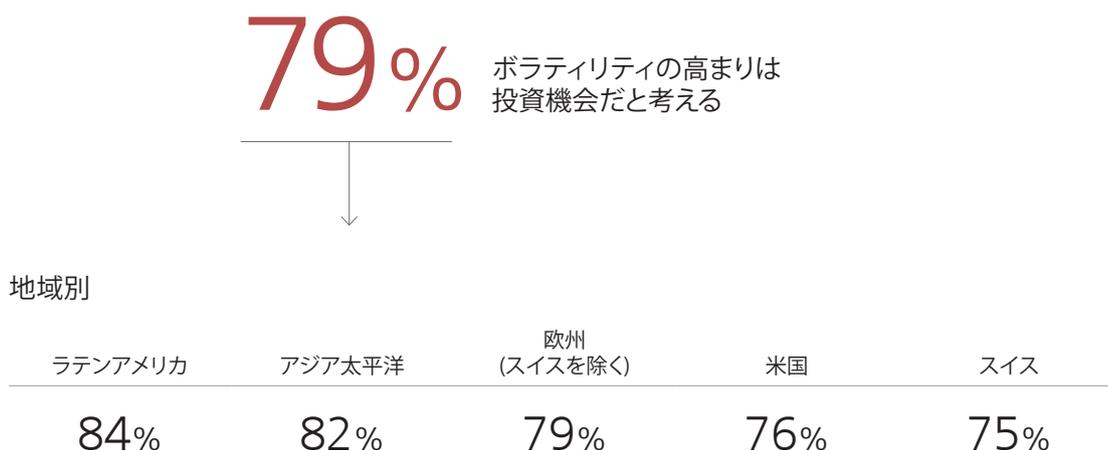
投資家は新型コロナウイルスが リスクと投資機会の両方を生み出すと見ている...

投資家はパンデミックによる損失に痛みを覚え、その81%はパンデミックが終焉を迎える前に、また市場がさらに下落するのではないかと心配している。その一方で、投資家の79%は、投資機会があるとも考えている。

投資家は市場にリスクがあると見ている ...



... しかしながら、今後、投資機会が訪れるとも見ている



… 多くのアドバイスを求めている

新型コロナウイルス後の世界に潜むリスクと投資機会に対応するため、投資家はアドバイスを求めている。たとえば、プロのアドバイザーを持つ投資家の83%が通常よりも多くのアドバイスを望んでいる。

投資家は専門知識を求めている

83% このような環境では
通常よりも多くのアドバイスを
プロのアドバイザーから欲しい

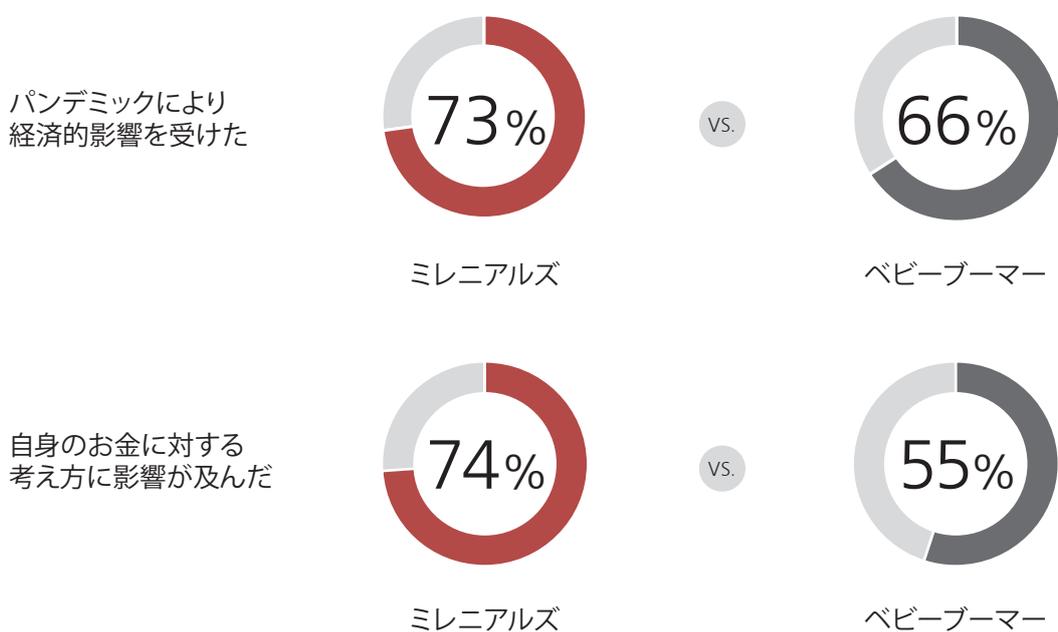
地域別



パンデミックの影響を大きく受けたミレニアルズ …

新型コロナウイルス後の経済環境では、投資家の多くは課題に直面しているが、もっとも大きな影響を受けたのはミレニアルズの投資家(25-39歳)だ。彼らは、失われた老後資金を補うために長期間働かなければならないと考え、仕事を失うことや、収入が減少する不安も感じている。

若い投資家ほど影響が大きい …



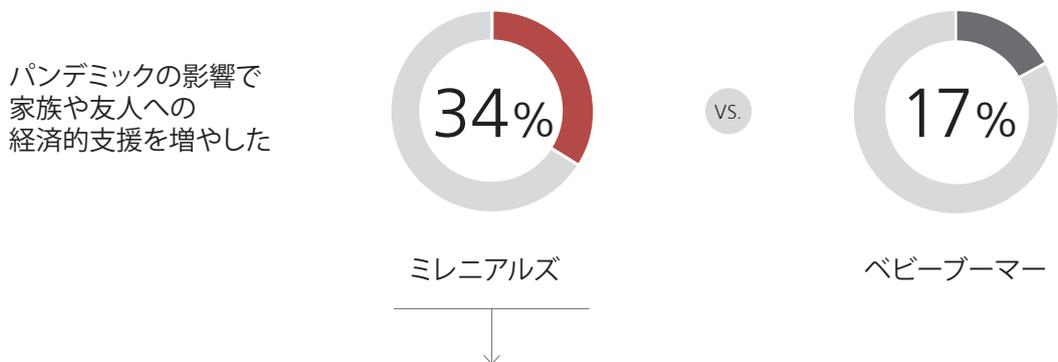
… 経済状況への心配も若い投資家のほうが大きい

懸念事項	ミレニアルズ	ベビーブーマー
損失を埋めるためより長く働かなければならない	71%	34%
感染第2波に耐えられるだけの貯蓄が十分でない	68%	38%
仕事を失う	45%	30%

...しかし、他人への経済的支援は増加

経済的な不安があるにもかかわらず、若い投資家はインパクトを与えたいと考えている。69%がサステナブル投資に関心を持ち、他の世代よりもはるかに高い60%が社会貢献活動を通じて、困っている人々を助けたいと考えている。さらに、パンデミックが起こったことで、若い投資家は最愛の人により多くのサポートを提供した。

若い投資家は、最愛の人により多くの経済的支援を提供...



地域別

地域	割合
ラテンアメリカ	49%
欧州 (スイスを除く)	42%
米国	31%
アジア太平洋	28%
スイス	25%

...そして、それらがインパクトを与えることを望む

新型コロナウイルスの影響を受け、両者への関心度は共に高い



サステナブル投資

69% ミレニアルズ

44% ベビーブーマー



社会貢献活動

60% ミレニアルズ

35% ベビーブーマー

調査について: UBSグローバル・ウェルス・マネジメントは、世界中の富裕層のお客様に金融に関する助言とソリューションを提供している。世界でも卓越した調査力を用いて、定期的にグローバル投資家に調査を実施し、ニーズ、目標、懸念を正確に把握しようとしている。2012年以来、UBS Investor Watchは、富裕層投資家のセンチメントを追跡、分析、報告してきた。

UBS Investor Watchの調査では、次のような幅広いテーマを対象に調査を実施している。

- 金融市場全体のセンチメント
- 経済の見通しと懸念すべき課題
- 個人的な目標と懸念
- 高齢化と引退といった主要テーマ

本号のUBS Investor Watchでは、3,750人以上の富裕層投資家を調査した。調査対象者は、投資可能資産を25万ドル以上保有する25-30歳、50万ドル以上保有する31-39歳、100万ドル以上を保有する40歳以上である。調査対象地域はスイス、英国、フランス、ドイツ、イタリア、アラブ首長国連邦、米国、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、中国本土、香港、シンガポール、台湾、日本の15市場にわたり、調査は2020年5月に実施された。

本資料に関するご留意事項

本資料はUBS AGが英文で作成したものをUBS証券株式会社(以下、当社)およびUSB銀行東京支店が情報提供を目的として協働して翻訳したもので、特定の金融商品の売買または売買に関する勧誘を意図したものではなく、金融商品取引法に基づいた開示資料ではありません。また、お客様に特有の投資目的、財務状況等を考慮したものではありません。本資料は信頼できると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。英文の原文と翻訳内容に齟齬がある場合には原文が優先します。記載内容は過去の実績であり将来の成果を示唆・保証するものではありません。本資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。金融商品等のお申込みに当たっては契約締結前交付書面等を十分お読みになり、ご自身でご判断いただきますようお願い申し上げます。

その他の留意事項

当社およびUSB銀行東京支店は、本資料の使用または配布により生じた第三者からの賠償請求または訴訟に関して一切責任を負いません、また税務、法務等の助言は行いません。

© UBS 2020 無断転載を禁ず。UBSはすべての知的財産権を留保します。UBSによる事前の許可なく、本資料を転載・複製することはできません。

商号等:UBS証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

商号等:ユービーエス・エイ・ジー(銀行)東京支店 登録金融機関 関東財務局長(登金)第605号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

ubs.com
2020-283300

